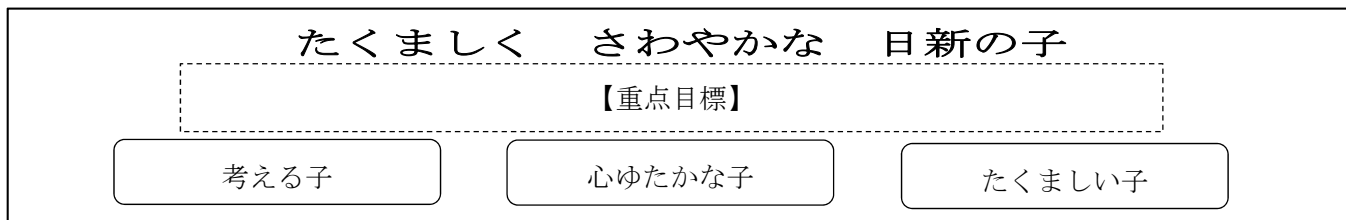


# 令和元年度 研究全体構想

## 〈学校の教育目標〉



### 〈昨年度の研究の成果と課題〉

昨年度は、「筋道を立てて考え、確かな学力を身に付ける子の育成」を研究主題とし、本時児童に付けたい力を明確にした単元指導計画の作成、課題解決に向けて考えをもったり、広めたりするための交流活動の工夫、確実に力を付けさせるための練習問題や評価の在り方に重点をおいた指導を行い、児童が自らの学びを確かめるとともに、学んだことを活用して問題解決することができるように、実践研究を行った。

#### 【成果】

- ①一単位時間で児童に付けたい力を明確にし、評価の重点をはっきりさせた単元指導計画を立てることで、単元でつけるべき4観点をどこでつけるのかをはっきりさせて授業を行うことができた。
- ②「知りたい・わかりたい」と自分から求めていくことができる交流の活動を行い、どの子も自分の考えをもち理解を深めることのできる場を位置付けた。
- ③単元指導計画で明確にした重点やねらいに合わせた評価問題を準備することで、本時身に付けさせたい技能もしくは、理解させたい知識が身に付いたかを判断することができた。

#### 【課題】

- ①定着を確実にするために、「わかるようになりたい」という、自分から問題に向かう思いや姿勢をもっと高めていく。
- ②何を求める問題であるか、何を手掛かりに考えることができそうかを捉えることができる力をつける必要がある。
- ③児童の実態把握・分析を十分に行い、個に応じた手だてを考えていくべきである。
- ④交流活動の工夫をして練習問題の時間を確保する。また、練習問題の内容や方法を工夫し、学習内容の定着を図る必要がある。
- ⑤根拠を問うことや条件を変えて問うことで、概念や性質を正しくおさえ、考察の範囲を広げて学力を定着させていく。

### 〈本年度研究主題〉

主体的に学び、確かな学力を身に付ける子の育成

### 〈めざす子どもの姿〉

- ・基礎的、基本的な知識や技能を身に付けている子
- ・課題解決の方法を、筋道立てて考え、数学的に表現しようとする子
- ・よりよい問題解決に向けて、粘り強く最後まで取り組もうとする子

### 〈研究仮説〉

一単位時間の中で、児童が何を学ぶかを意識し見通しをもって取り組んだり、自分の考えを筋道立てて表現したり、学んだことを確認できる場を設定すれば、主体的に学び、確かな学力を身に付けることができる。

### 〈研究内容〉

- 研究内容1 児童に付けたい力を明確にした単元指導計画の工夫
- 研究内容2 児童の実態をもとにした指導の工夫
- ①児童のつまづきに対する手だての工夫
  - ②よりよい課題解決に向けての交流活動の工夫
- 研究内容3 学習内容の定着を図るための内容と方法の工夫